

土木工事特記仕様書

工 事 概 要

工 事 名 称	東京藝術大学取手校地橋梁安全対策工事
工 事 場 所	茨城県取手市小文間5000 (東京藝術大学 取手校地構内)
完 成 期 限	令和 5 年 3 月 31 日 (金 曜 日)
工 事 内 容	・橋脚巻き立て工事 ・落橋防止工事

一 般 特 記 事 項

総 則	<p>1. この工事の受注者は、東京芸術大学工事請負契約要領別記第1号工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書 1 枚、図面 20 枚、文部科学省土木工事標準仕様書・付属資料(令和4年版)、文部科学省土木工事施工管理要領及び工事写真撮影要領に基づき工事を施工する。</p> <p>2. 特記仕様書の適用方法</p> <p>(1) ・印を始まる事項は、○印の付した事項のみ適用する。</p> <p>(2) 表中の数字、文字又は記号を記入する事項は記入してある事項のみ記入する。</p> <p>(3) ≡で抹消した章及び項目の当該特記事項は、すべて適用しない。</p> <p>(4) 左欄の( )内の数字は文部科学省土木工事標準仕様書の該当番号を示す。</p> <p>(5) 特記された材料、製造所、製品名、施工業者の取扱いは、特記されたもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。</p>
-----	--

1 章 一 般 共 通 事 項

(1.3.10) 施 工 中 の 環 境 保 全 等	本工事において、低騒音型・低振動型建設機械、排出ガス対策型建設機械及びディーゼル車排出ガス規制に適合した車両を適用する。 ○ 適用する												
(1.3.11) 発生材の処理等	発生材については、関係法令に従い適切に処分すること												
低騒音・低振動型建設機械の使用	本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号)に基づき国土交通大臣が型式指定を行った低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。ただしこれにより難い場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 低騒音型建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。												
排出ガス対策型建設機械	本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(平成17年法律第51号)に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号)、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程」(平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号)もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成18年3月17日付け国総施第215号)に基づき指定の排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。 排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術開発」、もしくは建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型機械と同等とみなす。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策型建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。 <table><tr><th>機種</th><th>摘要</th></tr><tr><td>ブルドーザ</td><td rowspan="3">ディーゼルエンジン (エンジン出力8kw以上、560kw以下)を搭載したものに限る。</td></tr><tr><td>バックホウ</td></tr><tr><td>ホイールローダ</td></tr><tr><td>ホイールクレーン(ラフテレーンクレーン)</td><td rowspan="5">ディーゼルエンジン (エンジン出力7.5kw以上、260kw以下)を搭載したものに限る。</td></tr><tr><td>ローラ類(ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ)</td></tr><tr><td>油圧ユニット(基礎工事用機械で独立したもの)</td></tr><tr><td>空気圧縮機(可搬式)</td></tr><tr><td>発動電動機(可搬式、溶接兼用機を含む)</td></tr></table>	機種	摘要	ブルドーザ	ディーゼルエンジン (エンジン出力8kw以上、560kw以下)を搭載したものに限る。	バックホウ	ホイールローダ	ホイールクレーン(ラフテレーンクレーン)	ディーゼルエンジン (エンジン出力7.5kw以上、260kw以下)を搭載したものに限る。	ローラ類(ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ)	油圧ユニット(基礎工事用機械で独立したもの)	空気圧縮機(可搬式)	発動電動機(可搬式、溶接兼用機を含む)
機種	摘要												
ブルドーザ	ディーゼルエンジン (エンジン出力8kw以上、560kw以下)を搭載したものに限る。												
バックホウ													
ホイールローダ													
ホイールクレーン(ラフテレーンクレーン)	ディーゼルエンジン (エンジン出力7.5kw以上、260kw以下)を搭載したものに限る。												
ローラ類(ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ)													
油圧ユニット(基礎工事用機械で独立したもの)													
空気圧縮機(可搬式)													
発動電動機(可搬式、溶接兼用機を含む)													

ディーゼル車排出ガス規制に適合した車輛

(1.4.4)  
材 料 の 検 査 等

(1.5.4)  
一 工 程 の 施 工 の 確 認 及 び 報 告

(1.5.5)  
施 工 の 検 査 等

(1.7.1)  
完 成 時 の 提 出 書 類

(1.7.2)  
完 成 図

(1.7.3)  
保 全 に 関 する 資 料

監督職員事務所

① 受注者は本工事現場で使用し、又は使用される関係車両(以下「本工事関係車両」という。)が、当該工事場所のディーゼル車排出ガス規制条例(以下「排出ガス規制条例」という。)の適用を受ける場合は、これに適合した車両を使用しなければならない。

② 受注者は、本工事の施工に先立ち、本工事関係車両の「ディーゼル車排出ガス規制に適合する車両の使用」について、排出ガス規制条例の遵守を施工計画書に記載しなければならない。

③ 受注者は、本工事関係車両にディーゼル車を使用する場合には、車検証のコピーを保管し、本工事関係車両を把握しなければならない。

④ 受注者は、取締りにより本工事関係車両に違反行為があった場合には、直ちに監督職員に報告しなければならない。

⑤ 受注者は、資機材の搬出入等において資材納入業者に排出ガス規制条例を遵守させる

本工事に使用する材料の検査は次による。

材 料 名	備 考
緩衝チェーン	
鋼製ブラケット	

標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員に施工の確認及び報告をする。

3章 仮設工	測定の完了、丁張り等の完了 指定仮設の設置完了
6章 無筋及び鉄筋コンクリート	鉄筋組立の完了、コンクリート打設の完了 型枠の組立完了、型枠取り外しの完了

標準仕様書に定めがあるもの以外で、次については監督職員の検査を受ける。  
・ 緩衝チェーン、鋼製ブラケットの取付け完了時点  
・

○ 完成図 ○ 保全に関する資料

完成図等として次のものを提出する。

(1) 配置図及び施設平面図等の完成図(施工図及び施工計画書を除く。) 原因及び焼き図製本 (A3判 3部)

(2) 施工図 (A3判 3部)

(3) 施工計画書 (A4判 1部)

工事写真帳は○紙媒体 ○電子媒体 )で 各1部提出する。  
完成写真はキャビネ版とし、工事名称等は金文字入りとする。  
なお、完成写真には撮影方向等を明示した配置図、平面図を添付する。

保全に関する資料として次のものを提出する。

・ 工作物等の保守に関する説明書 (1部)

・ 機器取扱い説明書 (1部)

・ 官公署届出書類 (1部)

・ 主な仕上げ材料一覧表 (1部)

監督職員事務所の設置 ・ 有り ( m<sup>2</sup> ) ○無し

東京藝術大学	工事名称	施設課		
	東京藝術大学取手校地橋梁安全対策工事			
	図面名称	縮尺	年度	図面番号
	特記仕様書 1	No Scale	R 4	特- 0